

OSAKA SUPER CITY CONCEPT

大阪府・大阪市スーパーシティ構想



スーパーシティ型国家戦略特区とは

日本では、「世界で一番ビジネスをしやすい環境」を作ることを目的に、地域や分野を限定し、大胆な規制・制度の緩和や税制の優遇を行う国家戦略特区を指定しています。

そのなかでも、大胆な規制改革と併せ、データ連携基盤を活用して複数分野の先端的サービスを提供する「スーパーシティ型国家戦略特区」を設け、2022年4月に茨城県つくば市、大阪府大阪市を指定しました。

WEBSITE



データで広げる “健康といのち”

大阪は、世界有数の人口集積と経済規模を持つ都市です。

大阪・関西万博の開催をはじめ、多くの人々やモノの移動、交流が行われるグリーンフィールド（夢洲・うめきた2期）を実証・実装の機会として、大阪広域データ連携基盤（ORDEN）を活用したデータ連携を通じて主としてヘルスケアとモビリティの分野を中心に先端的サービスを展開し、住民 QoL の向上と都市競争力の強化をめざします。

夢洲（大阪・関西万博会場イメージ）

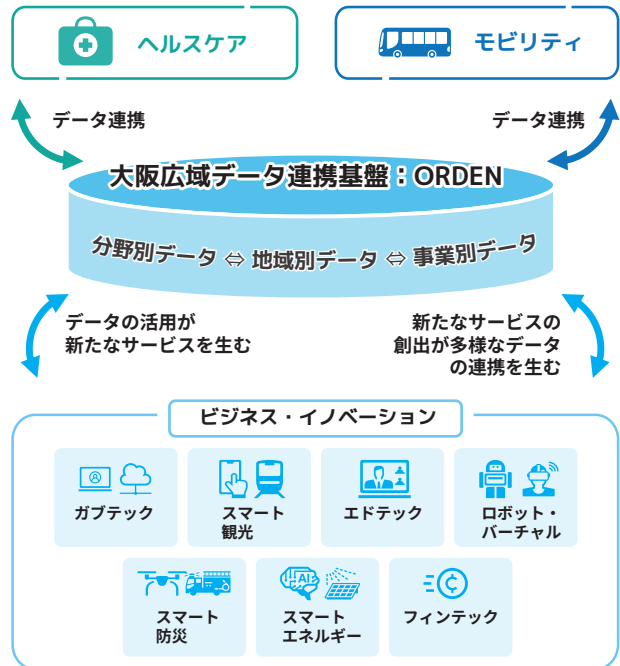


提供：2025年日本国際博覧会協会

うめきた2期（大阪駅前複合開発イメージ）



提供：グラングリーン大阪開発事業者



ヘルスケア

ビジョン

豊かに暮らす健康長寿社会

先端国際医療

・先端国際医療サービス

主な先端的サービス

未来健康サービス

・ヒューマンデータとAI分析などによる健康増進プログラム
・次世代PHRを活用した先端的サービスの高度化

モビリティ

ビジョン

ストレスフリーな最適移動社会

スマートモビリティ

・レベル4相当の自動運転の実施
・MaaSによる移動の円滑化の実現

主な先端的サービス

空飛ぶクルマ

・日本初の空飛ぶクルマの社会実装

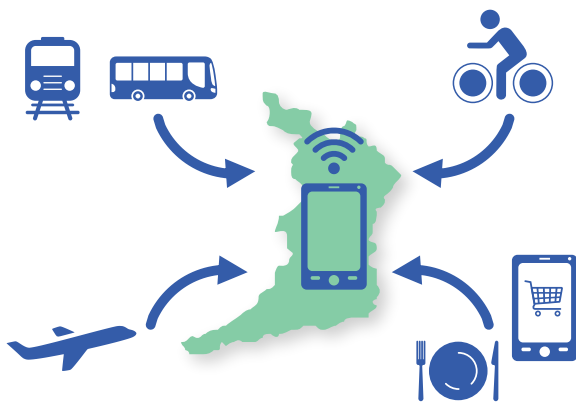
MAJOR PROJECTS

空飛ぶクルマの社会実装

大阪では、空飛ぶクルマを活用したビジネスモデルを創造する都市としての発展をめざし、2025年の大阪・関西万博においては、空港や市内等から、会場となる夢洲への2地点間運航を実現することをめざして取組を進めています。万博後においても、主要駅やビルの屋上、コンビニの駐車場、ウォーターフロントなど、市街地の様々な場所にポートが存在し、日常使いのモビリティとして空飛ぶクルマが普及し、便利で快適な移動ができる社会の実現をめざしていきます。



©SkyDrive



MaaSによる移動の円滑化の実現

MaaSによる経路検索・予約・決済や混雑情報の提供を通じて、シームレスな移動体験の提供をめざしています。将来的にはデータ連携基盤などを通じて、交通・観光など多岐にわたるデータを活用し、交通需要を予測・誘導することで、渋滞回避やCO₂削減、新たな移動需要の創出をめざしていきます。

大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn

大阪が持つ強みを活かして、最先端の医療技術やライフサイエンス産業が創り出す近未来への期待を高め、さらには食や文化、観光などによる交流を促進する場となるよう、多彩なプレーヤーと連携・協力し、ワクワクしながら明るい未来を感じることができる展示を実現します。大阪パビリオン内で、PHRポッドで来館者の健康データを取得後、リフトライドで2階に移動するとアバター化された「ミライの自分」に出会うことができ、ミライの自分と一緒に、2050年頃の未来の都市生活を感じられる展示体験を楽しんでいただけます。



大阪ヘルスケアパビリオン館内展示イメージ

詳細はこちらから >>>>



大阪府・大阪市
スーパーシティ構想
PRムービー



大阪府 スマートシティ戦略部
特区推進課スーパーシティ推進グループ
E-mail: supercity@gbox.pref.osaka.lg.jp

WEBSITE



大阪市 デジタル統括室 戦略担当
(スマートシティ推進グループ)
E-mail: bb0006@city.osaka.lg.jp

WEBSITE

